

施策分析シート（平成26年度）

No1

施策名	都市計画道路の整備	施策No	12-02	部課名	防災都市づくり部道路公園課		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	安全安心都市					
	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備				
目的	都市計画道路の整備により、避難路や延焼遮断帯としての機能確保、木造住宅密集地域の防災性向上、安全に歩行できる空間の確保、電線類の地中化や植樹帯の整備が可能となるため、計画的に実施する。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		23年度	24年度	25年度			
	まちなみの良さ			2.87	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？		
	防災性			2.31	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
	安全・安心の実感			2.67	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み		目標値(28年度)
	都市計画道路の整備率(%)	58.1	58.1	58.1	58.1	70	完成5,160m/計画8,886m(平成26年3月末延長)
	補助193号線用地測量実施率(%)				5	100	
	補助331号線用地取得率(%)	8	15	27	45	100	公社取得ベース
現状と課題（指標分析）	<p>平成25年度から第四次事業化計画の策定に着手し、現計画での優先整備路線の整備時期も改めて検討する必要がある。</p> <p>補助321号線と補助331号線に加え、25年度から補助193号線整備事業にも着手した。</p> <p>都市計画道路整備の重要性を関係権利者に十分に理解していただき、速やかに用地を取得することが、早期整備につながる。</p> <p>『区部における都市計画道路の整備方針』における第三次事業化計画優先整備路線： （区施工分）補助331号線、補助189号線、補助193号線、補助182号線（整備期間 平成16年度～27年度）</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>都市計画道路の整備は、現状を見極めた上で、重要性や経済性及び防災街づくりの観点から、優先順位を定めて計画的に進めていく。</p> <p>防災街づくりを推進していくため、第三次事業化計画の優先整備路線のうち、補助193号線を優先して整備していく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備率を区部平均水準まで引き上げる。 区部平均:63.8%(平成25年3月末)

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
都市計画道路補助193号線 整備事業	10-05-04	-	6,100	重点的 に推進	重点的 に推進	地域危険度の高い町屋・尾久地区に導入した不燃化特区制度のコア事業として本路線の整備を推進する。
都市計画道路補助321号線 整備事業	10-05-14	27,339	171	継続	継続	未取得用地である東京ガス所有地の土壌汚染状況調査費及び対策費について、引き続き検討を進める。 なお、取得済み用地については整備を検討する。
都市計画道路補助331号線 整備事業	10-05-15	5,157	714,588	重点的 に推進	重点的 に推進	J R等の鉄道で分断された南千住地域を東西に結び、広域避難場所「都立汐入公園一帯」への避難路となる本路線の整備は、災害時の円滑な移動を確保する上で重要である。
合 計		32,496	720,859			